

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：1/20～1/24

### ・1/20(月)

国会初日と政治とカネ、桜を見る会、和歌山市が断水を急遽中止で市長が謝罪、【異論反論】政治とカネなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした、なお、国会初日と政治とカネについては検証者の所感を記しました。

### ・1/21(火)

ダボス会議、河井案里議員の疑惑、施政方針演説などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。また、ダボス会議、施政方針演説については検証者の所感を記しました。

### ・1/22(水)

河井案里議員の疑惑、桜を見る会、ダボス会議、ウクライナ疑惑などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、ダボス会議については放送法上非常に問題と考えられる場面が見られました。また、河井案里議員の疑惑およびダボス会議については検証者の所感を記しました。

### ・1/23(木)

国会論戦、原発利権などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、国会論戦については検証者の所感を記しました。

### ・1/24(金)

アメリカ大統領選挙、国会における不正発言などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。なお、アメリカの大統領選挙については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月20日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：国会初日と政治とカネ、桜を見る会、和歌山市が断水を急遽中止で市長が謝罪、【異論反論】政治とカネ、クロージング		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会初日と政治とカネ</li> <li>・イギリスのヘンリー王子のイギリス王室離脱</li> <li>・2000年の年末での世田谷一家殺害事件の現場が初公開</li> <li>・すくいらーく HD が 24 時間営業廃止</li> <li>・中国新型肺炎の患者が急増</li> <li>・奈良市職員の線路ジャンプで奈良市が謝罪</li> <li>・桜を見る会</li> <li>・和歌山市が断水を急遽中止で市長が謝罪</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】政治とカネ</li> <li>・天気予報</li> <li>・クロージング</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会初日と政治とカネ：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>スタジオで小川キャスターの「まずはじめにお伝えするのは今日から始まった国会です、政治とカネを巡って雲隠れを続けてきた議員がまた一人姿を現しました。」というコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。</p> <p>"ナレ「額から吹き出す汗が止まりませんでした、去年 10 月、経済産業大臣を辞任した、自民党菅原一秀衆院議員、およそ 3 ヶ月ぶりに報道陣の前に立ちました。」</p> <p>菅原一秀（前経産相）「当局から要請があれば、しっかりお答えをしてまた、誠意を持って協力を申し入れたい、このように考えております。」</p> <p>ナレ「汗だくになりながらの説明で納得いく内容はあったのでしょうか。」</p> <p>"本多平直（立憲民主党衆院議委員）「練馬区に住んでいる 110 人にメロン、カニ、冬はみかん、たらこ、筋子、配っていたんじゃないんですか？」</p> <p>ナレ「去年 10 月、地元の有権者にカニやメロンを配った疑惑について野党側が追及、事実であれば公職選挙法違反だと迫りました。」</p> <p>菅原一秀（経産相、当時）「確認をするように今、指示を事務所にしたところです。」</p> <p>本多平直「すっとぼけたこと言わないでくださいよ。安倍晋三先生にはローヤルゼリーを大で、塩崎先生にはローヤルゼリーを小、こんな判断、秘書ができるんですか。」</p>		

"菅原一秀「昨年の辞任したあとに、告発が出されたということを報道で聞いております、弁護士と相談の上、適切な時期にしっかりと全容の説明をしていきたい。」

ナレ「専門家は物品が配られた時期は3年以上前ですでに時効が成立しているとしつつも。」

若狭勝（元東京地検特捜部、弁護士）「道義的、政治的な責任というのには時効がありません。」

ナレ「更に、もう一つ注目されるのが秘書が地元有権者の通夜で香典を手渡していた、という疑惑です。公職選挙法では議員本人が弔問のため持参するのを除き、選挙区内での香典は寄付行為に当たるとして禁じられています。2000年には小野寺五典衆院議員が有権者に線香を配ったとして公職選挙法違反に問われました、その差異議員辞職した上で、公民権停止などの略式命令を受けています。」

"記者「香典の話についてはないかその後調査は進められていないんですか。」

菅原一秀「それは、それも含めて、今、告発状が出ているということでもありますから、その当局からの要請がありますれば、それはしっかりとお答えをしながらやっていきたいと思います。」

記者「要請がないと答えられないということは違法なことをしたという認識があるということですか。」

菅原一秀「それも含めて、その告発状が出されているという状況でございますから、そこは当局に対して要請がありますればしっかりとそれに答えていきたい。」

ナレ「一連の疑惑には一切、答えなかった菅原氏、専門家は。」

"若狭勝「秘書が議員の名前で持っていったという時点で、その秘書は公職選挙法違反にはなりますよね、秘書が持って言ったのを知らなかったということになりますと、処罰することは出来ない、と。」

ナレ「今後の捜査の行方について。」

若狭勝「菅原事務所においては秘書が香典を持っていくという取り扱いが頻繁にあったのかどうか、そういう実態についての取り調べ、あるいは解明というのがなされていくものと思います。」

"記者「なんでそこまで隠すんでしょうか

菅原一秀「いや、隠すも何も、私は誠心誠意政治活動をしてきたつもりでございます、これからもそのつもりでございます。」

記者「違法なことはやっていないんですね。」

菅原一秀「はい。」

記者「でも答えられないんですね。」

菅原一秀「ですから、それは先程来繰り返し申し上げている通りで誤字余す。」

ナレ「離党や議員辞職については今、考えていない、残された職責を全うしていきたいなどと語りました。政治とカネをめぐる渦中の議員は菅原氏だけではありません。」

村瀬健介「いま、安倍総理が議場に入ってきますけれども、今日から通常国会が始まります。」

ナレ「今日から始まった通像国会、開会式にいち早く姿を見せた議員がいました。河合案里参院議員です。自身の陣営がスタッフに上限を超える報酬を支払った公職選挙法違反で先週、事務所や自宅が家宅捜索を受けたばかり。」

"記者「国会議員を続けられるというのは、どのような思いで続けられるんでしょうか。」

河合案里「日本を変えたいからです。」

ナレ「案里議員は捜査中を理由に説明を拒否。離党も議員辞職も否定しています。」

河合案里「今日からまた国会活動を再開させていただきたいとおもっております。」

記者「ご自身は現段階で世間からの納得というのは得られると思いますか。」

河合案里「私のこの不十分な説明しかできないわけでございますので、納得はしていच्छらないだろうなということをお心苦しく思っております。」

ナレ「一方、案里議員の夫で今回の疑惑で法務大臣の職を辞任した河井克行衆院議員の姿もありました。」

記者「選挙事務所を取り仕切って、その立場で全体を把握できる立場でしかも関与を疑われている、それはやはりご自身から説明するべきではないでしょうか。」

河井克行「いま、ご指摘いただいた点についてはまさにいま当局が刑事事件として捜査をしていच्छる最中でありますので、私から今のご質問に対する評価を含めて発言することは控えるべきだと考えている。」

ナレ「今回の国会で野党が追及の構えを見せているのが、この政治とカネの問題や桜を見る会、自衛隊の中おつ派遣、そしてこの問題も。」 "

"野田佳彦（「立国社」会派、前首相）「今年はねずみ年ですけれどもだからといってドブネズミが元気に走り回る年にははいけないと思います。今、ネズミが集まっているドブの一つはカジノ、IR です。」

福山哲郎（立憲民主党幹事長）「10 数年ぶりに国会議員が逮捕されました。なぜそれでもカジノが必要なのか、説明していただくではありませんか。」 "

"ナレ「10 数年前の逮捕というのは。業者からの依頼で林野庁に働きかけを行い、斡旋収賄などの容疑で逮捕された鈴木 m ネオ議員の事件のことで、秋本司容疑者は実に 17 年ぶりに収賄の疑いで現職の国会議員として逮捕されたのです。カジノを含む統合型リゾート IR 事業は安倍政権の看板製作の一つでした。秋元容疑者は当時、IR 担当の副大臣を務めていて、旗振り役の一人だったのです。今日の国会にはカジノ汚職をめぐり、地元事務所が東京地検の家宅捜索を受けた自民党の白須賀衆院議員も疑惑後初めて姿を見せました。」

白須賀貴樹（自民党衆院議委員）「秋本司先生の事件として今、捜査中の段階ですので、私からはコメントは一切差し控えさせていただきたいと思ひます、大変申し訳ございません。」

記者「申し訳ございませんというのは何に対して。」

白須賀貴樹「コメントが出来ないことに対してです。」

記者「違法性のあることは何もしないという認識でよろしかったでしょうか。」

白須賀貴樹「全てにおいてコメントはちょっとですね、差し控えさせていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します、すみません。以上です。」

ナレ「また、下地幹郎衆院議員は贈賄の疑いで逮捕された中国企業の元顧問から 100 万円を受け取ったことを認め、日本維新の会を除名処分となっています。こうした事態を受け、野党の 5 つの党と会派はカジノ整備法を廃止する法案を今朝、提出しました。」 "

"安住淳（立憲民主党国対委員長）「金まみれ利権まみれになるよということはずっと行ってきました。政府に対してカジノの実施導入を断念させる、その第一歩としてさきほどこの法案を提出いたしました。」

ナレ「JNN の最新の世論調査ではこの IR 事業を進めるべきとは思わないと答えた人が 56%にのぼっています。」 "

"安倍総理「今、ここから日本の令和の新しい時代を皆さんとともに切り開いて以降ではありませんか。」

ナレ「安倍総理は憲法改正や社会保障改革を訴えましたが。カジノの是非についてや自らの関係する桜を見る会

については触れませんでした。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「今日は国会の初日でしたけれども疑惑の自民党の三人の議員が釈明に追われることとなった、そして野党からはカジノを禁止する法案も出される、星さん、波乱を予感させる幕開けとなりましたね。」

星浩「そうですね、政治記者として言うことですね、今日から長い政局が始まった。来年の秋までですね、ということだと思いますね。」

小川彩佳「今日から政局が始まったということは政権を揺るがすような局面がいつ起きてもおかしくないということですが、こちら、当面の政治日程がこちらですが、安倍総裁の、自民党総裁としての任期は来年の9月30日ということになりますね、まあどのようなシナリオが考えられるのか、教えていただけますか。」

星浩「まあざっと3つほどあると思います、順を追って見ていきますと来年9月が任期満了でそこで退陣することですけれども、そのときには死に体になっていますよね、それでまあその時は自民党の総裁選挙、地方党員も含めてやりますので、地方党員に人気のある石破さんがかなり頑張るんじゃないかと言うんで底は避けたいというのがおそらく安倍さんも麻生さんも気持ちは一緒だと思うんですね。」

小川彩佳「避けたいシナリオ」

星浩「そこですね、オリンピック・パラリンピックのあとにまだ影響力を残したまま退陣して後継を示して次の選挙も出ればまだ自民党にとっても有利かなというようなシナリオが浮かんで来るわけですね、」

小川彩佳「このタイミングだとオリンピックの余韻の中で選挙、ということに」

星浩「ちょうどまあ任期を1年残すということですね、しかしまあこの国会始まった段階でも相当その逆風ですので野党の構成が強まってですね、この国会中にも政権が行き詰まるということもないわけではないという可能性がありまして、まあそのへんが私、政局が始まったと申し上げた所以なんですけれども、そういう意味では非常に今回の国会は緊迫した局面が続いていくと思いますね。」

小川彩佳「一番今、現実的なシナリオとしては。」

星浩「まあ二番。それからその前後という感じかなと私は思っているですけれどもね。」

小川彩佳「国会の動き次第でどうなるのかというところですね。」 "

このトピックに当てられた時間は764秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜を見る会：結論→特に問題なし

桜を見る会についてナレーションによって「桜を見る会の招待者名簿の管理が違法だったことなどを理由に歴代の内閣府人事課長を処分したことについて、菅官房長官は担当者レベルの問題が大きいと述べました。また、安倍総理や自身の責任については会の運営に問題があったことを認めたいと述べました。」とのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は28秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・和歌山市が断水を急遽中止で市長が謝罪：結論→特に問題なし

和歌山市の断水中止について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

"尾花正啓（和歌山市市長）「市民の皆様には申し訳ありませんでした。」

ナレ「和歌山市で水道管の修繕工事のため予定していた断水が直前になって中止されたことを受け、市長が謝罪をしました。工事を始めたところ破損していたのは細い水道管で断水せずに修繕できたということです。」

このトピックに当てられた時間は 23 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】政治とカネ：結論→特に問題なし

スタジオでの山本キャスターの「先程もお伝えした政治とカネの問題、有権者へのメロン、カネ疑惑で雲隠れしていた菅原前大臣にはおよそ 3 ヶ月の間、給与に当たる歳費などおよそ 1000 万円が支給されていました。河井前大臣夫妻も同様ですけれども長期欠席議員のお給料についてあなたは、異論反論。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"大学生（10 代男性）「3 ヶ月で 1000 万円ですよ、いい職場だなあと。」

IT 系（50 代男性）「税金がそんなふうになっていることに対して憤りを感じます。」

IT 系（30 代男性）「会社員もね、休んでいる間にある程度手当をもらえる保証があるというのは事実なので、そこは金額とかバランス。」

主婦（40 代）「選挙法違反みたいなことをされていてお休みしている間に給料が出ていたのは税金がもったいない。教育とか育児にもっと使っていただけると嬉しいな。」

事務系（30 代男性）「もらい過ぎだと思うけれどもその分頑張っているからいいんじゃないかなと思いますけど。」

契約社員（70 代男性）「契約社員だから休んだらお金がもらえませんよ、我々はその日暮らしですからね。」

経営者（60 代男性）「ふざけんなですよ。1000 万って言ったらすごい金じゃないですか、国民に取っていれば、決まりなんでしょ結局は、国の、休んでも貰えるという、そのシステムを変えない限り無理じゃないですか。」

山本恵里伽「以上、オブジェクションでした。」

このコーナーに当てられた時間は 89 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・クロージング：結論→特に問題なし

番組のクロージングで以下に朱記したようなやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「さて、先週の金曜日、田原総一郎さんをご出演くださった時に星さんに聞いてねと言われましたこちらの問題ですけれども、違法な管理ですね、名簿の、これについて菅長官はきょう、担当者レベルの問題が大きい、とこのように述べましたね。」

星浩「この政権はね、政治主導というのを掲げましてね、政治家が責任を持って政策を決めるということなんですけれども、違法行為があったときだけ官僚の責任にするというのはどう見ても理屈に合いませんのでね、まあ菅長官の責任を処分という形で明確にするのが妥当だと思いますね、それが宿題に対する答えになります。」

小川彩佳「田原さん聞いてくださっているのでしょうか。」

このシーンに当てられた時間は 35 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

### 検証者所感

- ・国会初日と政治とカネ

ナレーションの「額から吹き出す汗が止まりませんでした」という言葉に代表されるように「汗だく会見」と評されていたが映像を見る限りにはかなりフラッシュが焚かれており、当てられた側が汗だくになるのは無理もないように見えた。

与党議員についての政治とカネ、という問題が TBS にとっては非常に重要度の高いテーマであるということは定期的検証により良くわかったが、こうした問題を取り上げる一方で、政策的な問題のとりあげ方が疎かになってしまっているか、という点は引き続きチェックが必要であると考えます。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月21日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽 忽那賢志（国立国際医療研究センター、医師、感染症の専門家）		
検証テーマ：ダボス会議、河井案里議員の疑惑、施政方針演説		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国で新型反映のヒトヒト感染</li> <li>・ 記録的暖冬により各地で異変</li> <li>・ ダボス会議</li> <li>・ 河井案里議員の疑惑</li> <li>・ 施政方針演説</li> <li>・ 無資格診療の薬剤師を逮捕</li> <li>・ 穴戸錠さん死去</li> <li>・ 三菱UFJがネット通帳で1000円プレゼント</li> <li>・ 愛知県豊田市でキャンピングカーが蛇行運転で交通事故</li> <li>・ スポーツ報道</li> <li>・ 【異論反論】#AIで復活</li> <li>・ 天気予報</li> <li>・ 【速報】武漢市長のよびかけ</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダボス会議：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「私達も実感するところですし、本当に地球のあらゆるところで異変が起きている、じゃあこの異常気象にどのように私たちは対応していったらいいのか、こちら世界のリーダーが集まってダボス会議が開かれているのですが、ここでも気候変動が主要なテーマとなっておりますね、そこで注目されているのがアメリカのトランプ大統領と17歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさん、これまでも火花をちらしてきたこの2人ですけれども、2人は何を語ったのでしょうか。」とのコメントを受けて以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「年に一度、スイス東部のダボスで行われる世界経済フォーラム、通称ダボス会議、各国から政財界のリーダーが集まりました、今年の最大のテーマは環境問題です。」</p> <p>"グレタ・トゥンベリ「あなた方は『大人に任せなさい』、『そんなに悲願しないで』といますが、その結果、何も出来ませんでした。すぐにカセキネンリョウウから一切手を引いてください、2050年、2030年、2021年までに止めてほしいのではありません。今すぐに止めてください。」</p> <p>ナレ「17歳のグレタ・トゥンベリさん、今や環境保護活動の象徴的な存在となっています。」</p> <p>スイス市民「私達を止めることは出来ない、地球を生まれ変わらせることができる」</p> <p>ナレ「ダボス会議にあわせてスイスには多くの若者達が集まりました、世界のリーダーたちに温暖化対策の具体的な行動を求めています。そうした若者たちの声を世界のリーダーたちはどう受け止めたのか。」"</p>		

"ナレ「アメリカのトランプ大統領、今年 11 月、正式にパリ協定から離脱する予定で、どんな発言をするのか注目です。」

トランプ大統領「リーダーシップを発揮し、復活・成長をしながら木や森林をマネジメントしていきたい。ネガティブな見方をしている場合ではない、ポジティブに物事を捉えるべきだ。」 "

ナレ「世界経済フォーラムのもとに立ち上げられた一兆本の木を植えるプロジェクトに参加し、温暖化対策に貢献する、と述べました。しかしそれ以外は自身がアメリカ経済をどう回復させてきたかについて、多くの時間が割かれました。会場には厳しい表情で見つめるグretaさんの姿が。トランプ氏とグretaさんといえば、過去にあわやという場面がありました。」

"ナレ「去年 9 月、国連の気候行動サミットでは接触はしなかったもののニアミス、会場入りするトランプ大統領にグretaさんはこの表情です。今回は今の所接触はない様子の 2 人。演説終了後、トランプ大統領は。」

記者「グretaさんにメッセージはありますか。」

トランプ大統領「1 兆本の植樹プロジェクトを多くの方々や国と進めており、環境（保護）を強く信じている。」

ナレ「グretaさんについて直接的な言及はありませんでした。」 "

"ナレ「今回、会場にはグretaさんいがいにも世界中から 10 代の若者たちが集結しました。」

ナタージャ・ムワンサさん（18 歳、ザンビア）「重要な決定をする際に若い人たちも含んでほしい。」

オータム・ペルティエさん（15 歳、カナダ）「叔母がよく言っていました。『もしアイデアがあったらとにかくやってみて』と」

ナレ「グretaさんは若者たちが声を上げ始めたことは大きな進展としながらも、現状は何も変わっていない、と訴えます。」

グreta・トゥンベリさん「私たちの世代はあなた達と違って、戦わずに諦めることは絶対にしないことをここに宣言します。お願いしているのは子どもを愛するかのように行動を起こしていただきたいということです。ありがとうございました。」 "

VTR を受けて以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「グretaさんはじめ、若者たちとトランプ大統領の対象的な姿がありましたね、」

星浩「そうですね、トランプさんはまあアメリカの経済がいいんだというのをアピールしたかったんでしょうが、やっぱりアメリカが温暖化対策の枠組みから抜けるということに対してね、世界中の若い人が失望しているんだということに対する自覚がなさすぎるんじゃないかなと言う気がしますね。」

小川彩佳「一方で、今回のダボス会議、気になるのが去年は参加していた安倍総理ですとか、そういった日本の閣僚たちが一人も参加していないんですね。」

星浩「そうなんです、表向きはね、国会日程だっていうんですけれども、政府関係者によるとやっぱりこのダボス会議いくとね、とりわけその石炭火力について槍玉に挙げられるって言うんで、まあ今回は閣僚は出ないということなんでしょうけれど、あまりにも内向きすぎると思いますね。」

小川彩佳「発信する側ではなくて、口を紡ぐ側になってしまっていると。」 "

このトピックに当てられた時間は 338 秒で放送法上は特に問題は見られませんでした。

・河井案里議員の疑惑：

小川キャスターの「こちら、自民党の河井案里議員です、公職選挙法違反などの疑いが持たれていますが、この操作中を理由として夫の克行議員とともに疑惑の説明は一切していません、そうした中、地元から新たな証言が出てきました。」との発言を受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"湯崎英彦（広島県知事）「一県民の立場あるいは一有権者の立場から見ると非常に不満というかまあ憤りを感じるようなことじゃないかな。」

ナレ「こう、怒りを顕にするのは広島県の湯崎知事です。その矛先は地元選出の自民党、河井案里議員と夫の克行議員に向けられています。」

河井案里「捜査の進展をみながらですね、一区切りがついたところでしっかりと皆様にご説明をさせていただきたいと思っています。」

湯崎英彦「きちんとご説明いただきたいなという思いをまあ皆さん持っておられるんじゃないかなというふうに私自身も思っていることですね。」

"ナレ「去年の参院選を巡って選挙スタッフに上限を上回る報酬を支払ったと言っ割れている案里議員。」

渡辺典子（自民党県議）「彼女たちが、何も失うことなく、国会に出ているということが常識として許されるのかということです。私は許せないと思います。」

ナレ「こう憤るのは案里氏から依頼され、夫を介して一部のウグイス嬢を紹介したという自民党の渡辺県議です。渡辺県議はウグイス嬢から聞いた情報として法定の上限を超える報酬が支払われたことについては事実として受け取っていいとしています。渡辺県議は報酬の支払われ方などには関与していないものの地検から任意聴取や家宅捜索を受けたと言います。」

渡辺県議「ウグイスさんたちもそうだし、その他の運動員ももしかして家宅捜索を受けている方はみんなそうなんですよ、生活を奪われている状態なんです。」

ナレ「広島地検は関係者などの任意聴取を進めていて立件の可否の判断に向けた捜査を進めていると見られます」

このトピックについて当てられた時間は 172 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・施政方針演説：結論→特に問題なし

小川キャスターの「こちらは昨日安倍総理が行った国会での施政方針演説での様子です、この演説の中で総理が紹介したあるエピソードに疑問が投げかけられています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"安倍総理「転入が転出を上回り、人口の社会増が実現しました。」

ナレ「施政方針演説で安倍総理は島根県の江津市を具体例として取り上げ、市が若者たちに起業支援などをした結果、人口が増えた成功例として紹介しました。その中で。」

安倍総理「〇〇（実名）さんはパクチー栽培を行うため、東京から移住してきました。若者のチャレンジを後押しする環境が移住の決め手となりました。」

ナレ「東京から江津市に移住した若者の例として安倍総理が実名で紹介した男性。しかし一夜明け。」

"北村誠吾（地方創生相）「個人的な事情から現在は江津市を離れておられます。」

ナレ「北村大臣はこの男性が既に江津市から転居していたことを明らかにしました。既に転居している男性を取

り上げ、人口が増えた成功例として紹介した安倍総理。菅官房長官は  
菅義偉（官房長官）「実際、江津市の支援を受けて16年4月に移住して起業して3年以上に渡って居住している。  
政府としては問題なかった。」

ナレ「しかし、男性が既に江津市を離れたのではないのかとの指摘については。」

菅義偉「個人情報ですから、そこは控えます。真剣ですよ」 "

このVTRを受けて、スタジオではいかに朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「お名前まで演説の中で披露しておいて、個人情報を理由にというのはちょっと都合が良すぎないかな  
と思っちゃうんですけどね。」

星浩「そうですね、長いこと施政方針演説というの取材しておりますけれども、こんなこと聞いたことありま  
せんね。ちょっとその宣伝しようという気持ちが先走ってしまったんでしょう。やっぱり直前に確認すれば済む  
話ですしね、菅さんも個人情報と言ってますけれども、ちょっと確認不足だったと、こういうときはね、率直に  
自分の非を認めるというのがいいと思いますけれどね。」 "

このトピックに当てられた時間は144秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・ダボス会議

スタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

小川彩佳「一方で、今回のダボス会議、気になるのが去年は参加していた安倍総理ですとか、そういった日本の  
閣僚たちが一人も参加していないんですね。」

星浩「そうなんです、表向きはね、国会日程だっていうんですけれども、政府関係者によるとやっぱりこのダ  
ボス会議いくとね、とりわけその石炭火力について槍玉に挙げられるって言うんで、まあ今回は閣僚は出ないとい  
うことなんでしょうけれど、あまりにも内向きすぎると思いますね。」

小川彩佳「発信する側ではなくて、口を紡ぐ側になってしまっている。」 "

このように今回、会議に閣僚を参加させていないことに対しては批判的な論調であったが、仮に今の状況でダ  
ボス会議に安倍総理が参加していたら、それはそれで「桜を見る会の問題や政治とカネの問題から逃げている」  
と批判していたのではなかろうか。いずれにせよ、同じようなケースで国会よりも外交を優先するようなことが  
あった場合に、このキャスターたちがどのように論ずるのかを評価する際に今回の論調は一つの参考にしていき  
たい。

・施政方針演説

スタジオでは"小川キャスターが「お名前まで演説の中で披露しておいて、個人情報を理由にというのはちょっ  
と都合が良すぎないかなと思っちゃうんですけどね。」とコメントし、星キャスターが「そうですね、長いこと

施政方針演説というのも取材しておりますけれども、こんなこと聞いたことありませんね。ちょっとその宣伝しようという気持ちが先走ってしまったんでしょう。やっぱり直前に確認すれば済む話ですしね、菅さんも個人情報と言ってますけれども、ちょっと確認不足だったと、こういうときはね、率直に自分の非を認めるというのがいいと思いますけれどね。」とコメントしていた。

名前を演説の中で披露したのは安倍総理であり、個人情報を理由に答えられないといったのは菅長官である。この演説中に出てきた人物について安倍総理にとっては個人的な関係から知り得た情報であるが、菅長官とその人物との間にそうした関係がないのであれば、公権力によって収集した情報から答えるということになるが、それはやはり個人情報を保護するという点から控えるべきだという考え方も十分成り立つだろう。

また星キャスターは「菅さんも個人情報と言ってますけれども、ちょっと確認不足だったと、こういうときはね、率直に自分の非を認めるというのがいいと思いますけれどね」とコメントしていたが、安倍総理の確認不足ということは言えても、菅長官の確認不足というのは少し苦しいのではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月22日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、石井大裕		
検証テーマ：河井案里議員の疑惑、桜を見る会、ダボス会議、ウクライナ疑惑		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型肺炎で WHO が緊急会合</li> <li>・ 河井案里議員の疑惑</li> <li>・ 桜を見る会</li> <li>・ 楽天市場が送料無料の方針</li> <li>・ ダボス会議</li> <li>・ 福島県で車内から親子四人の遺体</li> <li>・ ウクライナ疑惑</li> <li>・ AI ロボットが居酒屋でおもてなし</li> <li>・ 【異論反論】#「中国人お断り」の張り紙</li> <li>・ 【速報】新型肺炎の死者 17 人</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河井案里議員の疑惑：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「続いてお伝えするのは、自民党の河井議員夫妻のウグイス嬢買収疑惑です。JNN では河井案里議員の陣営関係者がウグイス嬢を買収する際に、失礼しましたウグイス嬢を手配する際に交わした SNS のやり取りの詳細を入手しました。そこには河井ルールという文字があったのですが、どんなルールなんでしょうか。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>"音声「河井ルールで行けるようにしたいですね、」</p> <p>ナレ「これは、去年 7 月に送られたラインのメッセージ、やり取りしているのは河井案里氏の陣営からウグイス嬢の手配を依頼された陣営関係者とウグイス嬢の仲介役を務めていた人物です。」</p> <p>音声「あとはギャラがどうなるか聞いておきます、河井ルールで行ける様にしたいですね。」</p> <p>音声「そうだね、集めるときには法定と言って集めておきます。」</p> <p>ナレ「河井ルール、法定と言って集める。その意味するところは。」</p> <p>"ナレ「まず、ウグイス嬢の日当は法定では 15000 円以内、しかし、関係者によりますと案里氏の陣営は法定の倍額となる 30000 円の日当を支払い、見かけ上は 15000 円に収まるように日付などを変えた二枚の領収書を作成していたといいます。ウグイス嬢の手配について衆院選に立候補した経験を持つ、元東京地検特捜部の若狭氏は。」</p> <p>若狭勝（元東京地検特捜部、弁護士）「有能なウグイスさんの絶対数は決まっていますから確保するのはそれほど容易ではない、どんどんと報酬額が上がり上がっていく、資金力がない人はウグイスさんを確保することが到底難しいということで、選挙運動における公平な競争というものが著しく阻害される、と。お金で票とか選挙運動</p>		

をしてもらうことを買うということが問題です。」

ナレ「そして、報酬について河井ルールで行けるようにしたいというメッセージ、ウグイス嬢の仲介役を務めた女性が取材に応じました。」

ウグイス嬢の仲介役「過去に勝つ幸氏の衆院選で一日あたり三万円を提示されたことがある。」

ナレ「夫である河井克行前法務大臣の選挙戦でも法定を超える三万円の日当を提示されたというのです。」

ウグイス嬢の仲介役「河井ルールの存在は把握していましたが、金額については事務局が決めることだと思いついていません。」

ナレ「関係者の間で知られていたという河井ルール、このような違法な報酬の支払いがルールとして常態化し、案里氏の選挙戦でも踏襲されていた可能性があります。疑惑の捜査が進む中で河井ルールの存在を示すラインのメッセージは強い証拠になる可能性がある」と、若狭氏は指摘します。」

若狭勝「いわば、状态的、常習的になされているということのを伺わせる証拠にもなるということでもかなりインパクトがある、一つの大きなポイントとしては夫、河井克行さんの関与というのが非常にクローズアップされてくると思います。」

ナレ「違法な支払いに夫、河井前大臣も関与していたのでしょうか。きょう、本人を直撃すると。」

記者「河井ルール、」

河井克行（自民党前法相）「捜査中の案件ですからね。」

記者「河井ルールとよばれていませんか？」

河井克行「……」

ナレ「ウグイス嬢の仲介役を務めた女性は自宅を家宅搜索されたことを明かし、こう話しました。」

ウグイス嬢の仲介役「河井夫妻は色んな人を巻き込んでおいて、責任を取る姿勢を全く取らない。何をしたくて国会議員になられたんですか、と言いたい。」

ナレ「河井ルールについてのやり取りは広島地検も把握していると見られ、関係者からの聞き取りと押収したパソコンなどの解析を照らし合わせて立件できるかどうかの判断に向けた捜査を進めているもようです。」

VTR の後で、桜を見る会についての VTR をはさみ、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「そして河井夫妻についてですが、ウグイス嬢の買収疑惑でこのような生々しいラインのやり取りが出てきました。まあ河井ルールという言葉がありましたし、まあかなりライトなやり取りが交わされていることから、当たり前のようにこれが常態化していたんじゃないか、そんなふうに感じさせるんですけども、若狭弁護士も重要かつ強い証拠ではとおっしゃっていましたね。」

星浩「どうやらウグイス嬢に法定金額を超える報酬が払われたということは間違いなさそうだということになってきましたし、これは誰の指示だったのか、河井克行議員の指示だったのかということも焦点になってきましたが、もうひとつね、これは自民党の重点選挙区だったわけですよ、自民党のそのテコ入れにどういう原資を出したのかどうか、この辺も段々と焦点になってくるような気配ですよ。」

このトピックに当てられた時間は 355 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・桜を見る会：結論→今後も注視

小川キャスターの「そして、桜を見る会を巡っては安倍総理が誰を何人呼んだのか、その疑惑の解明につなが

る新たな資料が出てきました。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"記者「これまで、内訳に関わる資料はないとされていましたが、なぜ今まで資料を隠して説明を避けてきたのでしょうか。」

菅義偉（官房長官）「詳細については内閣府にお尋ねいただきたい。」

ナレ「政府が新たに公表したのは安倍政権で桜を見る会に招待された人の内訳を記した人の文書、どんな人が何人招待されていたのかがわかります。例えば去年は皇族が 23 人、外国の大使らが 788 人、そして突出して多い 8894 人の欄には各界功績者総理大臣等と記されています。2015 年から今年まで、この総理大臣等の枠が 7000 人から 9000 人前後で推移してきたことが明らかになったのです。いわゆる総理枠で何人が招待されていたのかを巡って政府はこれまでこう説明してきました。」 "

"菅義偉「15000 人の招待者のうち総理から約 1000 人程度、」

ナレ「官房長官が言う 1000 人という数字と、新たに明らかになった 9000 人を超える総理大臣等の数字はどう見たらいいのでしょうか。」 "

"柚木道義（「立国社」会派衆院議員）「結局それは安倍総理総裁枠ということでしょ。」

酒田元洋（内閣府大臣官房総務課長）「まずこの内訳につきましては既に名簿がないものですからわかりません。」 "

ナレ「ちなみに小泉政権時代の総理枠は 737 人、与党関係者らの枠と合わせても 2700 人余りです。」

"山井和則（「立国社」会派衆院議員）「なぜ、安倍政権の二年目には 3 倍の 7385 人に、なぜ安倍政権でこれ、5000 人、4500 人も増えているんですか。」

酒田元洋「よくわからないですね。」 "

ナレ「総理枠で最も問題視されているのはジャパンライフが宣伝に使った招待状、マルチ商法のトップを一体誰が招待したのか、招待区分の 60 は内閣府の資料によると総理枠であることが疑われますが、政府は認めていません。」

"枝野幸男（立憲民主党代表）「総理の枠で招待されたのではないですか、それが結果的にジャパンライフによる被害拡大につながったのではないですか。」

安倍総理「この招待者やその推薦元については個人に関する情報であるため、招待されたかどうかも含めて従来から回答を差し控えていただいているところであります。」 "

"ナレ「今回明らかになった資料からは更にこんな発見も。総理大臣等の招待者数の数値を見ると 2018 年の数値が突出しています。この年には何があったのでしょうか。」

安倍晋三「全国の党員、党友の皆様からは前回、6 年前の総裁選挙の 2.5 倍、35 万票を上回る得票をいただくことが出来ました。2018 年は自民党の総裁選があった年、安倍総理は地方の党員票をめぐり石破元幹事長との激戦を強いられていました。この年に総理大臣等の招待者が著しく増えたことについて野党側は。」 "

原口一博（国民民主党国対委員長）「総裁選挙、そういうのがあったときには増えている、結構激しい総裁選らしいんですけども、そこにまさに私物化して、この桜を見る会に呼んだ人たちが総裁選の時に呼ばれましたとも言っているわけですね。」

"ナレ「菅官房長官は。」

記者「秋には自民党の総裁選があったわけですけども、安倍首相への地方議員票や党員票の支持拡大のために

利用したのではないのでしょうか。」

菅義偉「推薦について自民党の中でどのような取り扱いをされているかについては政府としては承知しておりません。」

ナレ「今回新たになった政府の資料はそもそもなぜ今ごろ出てきたのでしょうか。桜を見る会の予算や招待者の人数が最初に国会で問題になったのは去年5月のことでした。」

"宮本徹（共産党衆院議員）「これ、一体全体、なんでこんなに増えていったんですか、招待する数が。」

井野靖久（内閣府官房長、去年5月当時）「既に開催が終わりましたので破棄させていただいております。」

ナレ「5月の国会で政府は廃棄したと説明、当時この問題をとりあげた宮本議員は。」

宮本徹「5月に質問した時に破棄してわかりませんというのが皆さんの最後の答えでしたけれども、これ見たら総理大臣等の推薦というのが増えているの是一目瞭然じゃないですか。」

山井和則「この種のことを私たち質問二ヶ月し続けてたじゃないですか、なんでこれ出してくれなかったんですか。」

酒田元洋「すみません。この種のことをズバリ聞かれてはいない、なんか違うような。」

宮本徹「私の昨年5月9日は参加者が増えた理由が具体的かつ詳細に分かる資料を出しなさいということを行ったわけですよ。」

ナレ「5月の時点で廃棄したはずの資料が出てきたことで同じく政府が廃棄したと主張している招待者名簿そのものが残っている可能性はないのでしょうか。政府はこれまで、紙だけでなく電子データも破棄したと主張。ただ、破棄した証拠となるログと呼ばれる電子記録については頑なに開示を拒否しています。今日の国会で改めて問われた安倍総理は。」

安倍総理「招待者名簿については文書及び電子ファイルの双方について必要な調査を行った結果、既に廃棄されていることを確認したものと承知をしており、改めて調査を支持することは考えておりません、なお、ご指摘のログについては内容を明らかにすれば、不正侵入等を助長する恐れがあり、政府として開示することはセキュリティ上の問題があると考えております。」

ナレ「データを破棄した証拠の開示を拒否する理由として、安倍総理は初めてセキュリティ上の理由に言及しました。」

VTRを受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「招待者名簿について政府は紙は廃棄したと、更に電子データも廃棄したというふうに説明していることから、じゃあそのデータを消した際に記録として残るログという電子記録を出してくださいと求められていたわけですね。これに対してきょう安倍総理はこのように答弁しました。内容を明らかにすればセキュリティ上の問題がある。はじめてこうした理由を出して答弁しましたね。」

星浩「このログの問題はなかなか苦しい答弁だと思いますね。」

小川彩佳「うーん。」

星浩「まあ段々と真相解明に向けて包囲網が狭まっている雰囲気が出てきますよね。まあ通常国会の代表質問というのはラグビーでいうところファーストスクラムみたいなもので、どっちに勢いがあるかわかるんですけども、今回は野党がこの疑惑についてかなり攻勢を強めているという感じですね、この電子データの問題はですね本当に全部ログがわかって消えているのかどうか、ここはですね、これからもしばらくくすぶり続け

るテーマになると思いますね。」

小川彩佳「電子データもまだどこかに残っているかもしれないというような中ですけれども。」

このトピックに当てられた時間は 510 秒だった。

国会では桜を見る会以外についても議論がされているはずであるが、桜を見る会や疑惑系の議論とそうではない政策的な議論がそれぞれどのように取り上げられているのか、というのは放送法第四条一項三号「報道は事実を曲げないですること」や印象操作という観点からも注視すべきと考える。

・ダボス会議：結論→問題あり

スタジオで小川キャスターの「さて、次なんです、こちらの数式をご覧ください。46 億人よりも 2153 人のほうが多い、ん、ってなりますよね、これ当然おかしい数式なんです、世界の現状を表すため、今週発表されたあるデータ、なんです。何を意味する数式なんでしょうか。」とのコメントを受けて以下に朱記した VTR が取り上げられた。

ナレ「スイスで開かれている世界経済フォーラムの年次総会、ダボス会議、ここに集まる世界経済を牽引するリーダーたちにも向き合ってもらいたい、そんなあるデータが発表されました。」

NGO「オックスファム」の報告書（20 日発表、音声）「経済的不平等は制御不能です。」

ナレ「こう始まる報告書には。」

「オックスファム」の報告書（音声）「2019 年、世界の億万長者わずか 2153 人は世界の 46 億人以上の富を保有していた。」

ナレ「つまり、世界の人口のおよそ 6 割に当たる 46 億人よりも富豪の上位 2153 人が保有する資産が上回ったというのです。また世界の最も裕福な男性 22 人が保有する資産を合わせるとアフリカの全ての女性の資産よりも多い、と指摘。さらに。」

オックスファムの報告書（音声）「世界の 15 歳以上の女性による無報酬の労働は 10 兆 8000 億円ドル以上に相当する経済の押し上げ効果がある。」

ナレ「と推計しました。」

アマタブ・ベハール（オックスファムインドIA CEO）「経済の隠れた牽引役は実のところ、女性が無報酬で行っている（他者への）ケアワークであることを強調することが重要です。この状況は変わるべきです、彼らは適切な賃金を得る必要がある。」

ナレ「あまりに偏った富の不均衡、報告書はこうした格差は主に男性の富を重視する血管のある性差別的なシステムに基づいている、と指摘しています。」

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返された。

小川彩佳「男女格差も深刻ですし、本当に富の偏在が深刻になっていますけれども、これ、決して日本も他人事ではないですよ。」

星浩「そうですね、この格差の背景には株の問題があると思うんですよ。大富豪が相当株を持っていますのでそれで儲けているということですが、日本でも実は深刻なことが起きているんですよ。実はこの表を見ていただきたいんですけども、所得とですね、税率、負担の税率を表しているんですけども、国税庁のデータを野党が再集計しているんですけども、普通はそのどんどん収入が増えていけば、所得する税率も上がっていくと

ころの累進性というところですよ。」

小川彩佳「そうですね、比例して上がっていくという」

星浩「ところが1億円以上になると負担の税率が下がるということがわかったんですよ。つまりこの辺の人たちはですね、株をいっぱい持っているものですから売却益とか配当があるものですから、実はその全体を見ると負担率が下がっている、と。例えば100億円の人は2000万円位の人とだいたい同じ負担率になっちゃっているということがわかって、これが格差の原因なんですよ。」

小川彩佳「大富豪というか、富裕層ほど、税金を払わなくていいというシステムになっているんですね。」

星浩「そうですね、やっぱりこの富裕層に対する課税強化が必要になってくるというのがこれを見ると一目瞭然だと思いますね。」

小川彩佳「この状況にもっと私たちも怒りを覚えないといけないですよ。」

星浩「そうですね。」

このトピックに当てられた時間は230秒だった。

スタジオでは国税庁のデータを野党が最終形したものが取り上げられていたが、元のデータがどのように集計されて、野党がどのような「加工」を施したのか、という点については一切言及されることなく、取り上げられていた。

データを扱う際には、それがどのように集計されたのか、ということも重要であるが、加工が加えられたものであれば、さらにどのように「加工」が施されたのかという点も重要である。元のデータではなく加工を施すということは元のデータに不十分な点があるからに他ならないが、どういった考え方にに基づき元のデータが不十分であると判断し、またどのような加工を施すことでその不十分さを補ったのかという点についての説明は必要不可欠であろう。こうした説明があった初めてわたしたちは加工されたデータが適切かどうかということ判断することが出来、加工されたデータを用いての議論のスタートラインに立つことができる、

にもかかわらず、今回のスタジオではそうした点は一切省かれた上で、富裕層に対する課税強化が必要だとか、「この状況にもっとわたしたちも怒りを覚えないといけない」などという結論が一方向的に展開されていた。

こうした議論の在り方は放送法第四条二項の「政治的に公平であること」および「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点に照らして問題があるばかりではなく、データの加工の妥当性について一切検証していないということそのデータが事実を適切に描写していない可能性をはらんでおり、放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」という点に照らしても問題のある放送といえる。

・ウクライナ疑惑：結論→特に問題なし

トランプ大統領のウクライナ疑惑について以下に朱記したようなVTRが取り上げられていた。

ナレ「トランプ大統領のウクライナ疑惑をめぐる弾劾裁判の本格的な審議がアメリカ議会上院で始まりました。21日の審議では裁判をどのような手順で進めるか、与野党の対立が続きました。」

トランプ大統領「全てでっち上げだ、全く問題ない。」

ナレ「一方。トランプ大統領は訪問先のスイスで無罪判決の獲得に自信を持ちました。」

このトピックについては当てられた時間は 31 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

#### 検証者所感

##### ・河井案里議員の疑惑

VTR で取り上げられていた自らも選挙を戦った経験のある若狭勝（元東京地検特捜部、弁護士）さんの「有能なウグイスさんの絶対数は決まっていますから確保するのはそれほど容易ではない、どんどんと報酬額が上がり、資金力がない人はウグイスさんを確保することが到底難しいということで、選挙運動における公平な競争というものが著しく阻害される、と。お金で票とか選挙運動をしてもらうことを買うということが問題です。」というコメントがとても印象的だった。

しかし、かりに報酬額を自由化した場合は一時的にはウグイス嬢の有能な報酬額は釣り上がっていくだろうが、他方で、そうした報酬額が釣り上げるという状況はこれまでウグイス嬢をやらなかったような人たちの新規参入を招くとすれば、若狭氏のいうような「有能なウグイスさんの絶対数は決まっていますから」という前提条件そのものが崩れるのではないだろうか。そうすれば、今度は需要と供給のバランスから、ウグイス嬢の報酬額の値下がりをはじめ、資金力が乏しい人でもウグイス嬢を確保することができる、というような状況になるのではないだろうか。

また、若狭氏のコメントにはリアリティが伴っていて、ウグイス嬢の確保に苦慮しているのはどの政治家も同じだといったげであったが、他の政治家は律儀に公選法を守ってかつウグイス嬢を確保しているのだろうか、それとも河井夫妻の事例は氷山の一角で、実際に調査してみたらどの選挙区もどの政党も似たような状況になっていたというオチになるのだろうか、非常に気になるところである。

##### ・ダボス会議

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

星浩「ところが 1 億円以上になると負担の税率が下がることがわかったんですね。つまりこの辺の人たちはですね、株をいっぱい持っているものですから売却益とか配当があるものですから、実はその全体を見ると負担率が下がっている、と。例えば 100 億円の方は 2000 万円位の人とだいたい同じ負担率になっちゃっているということがわかって、これが格差の原因なんですよ。」

小川彩佳「大富豪というか、富裕層ほど、税金を払わなくていいというシステムになっているんですね。」

星浩「そうですね、やっぱりこの富裕層に対する課税強化が必要になってくるというのがこれを見ると一目瞭然だと思いますね。」

小川彩佳「この状況にもっと私たちも怒りを覚えないといけませんよね。」

この状況というのは富裕層ほど税金を払わなくて良いシステム、ということだろうが、スタジオで示されたグ

ラフを見ても、野党が再計算した税率の変曲点は所得1億円となっており、所得1億円に至るまでは普通に税率は右肩上がりとなっている。またそこから税率が下がると言っても5000万円よりも10億円のほうが負担税率が低いとか、2000万円と100億円でだいたい税率が同じくらいという話になっており、なんだかんだ言っても、一般大衆よりも富裕層のほうが遥かに重い税率を負担させられているという状況には変わりはない。

そうした中で「この状況に怒りを覚えないといけない」という小川キャスターはコメントしていた。確かに年間所得2000万円の人と年間所得100億円の人が税率が同じだとか、年間所得5000万円の人の方が年間所得10億円の人よりも税率が重い、という状況に対して年間所得2000万円の人や年間所得5000万円の人からしたら理不尽に感じるようなものでもあるし、怒りを覚えるようなものかもしれないが、視聴者の大多数はそれほど年間所得があるわけでもないだろうから、小川キャスターの「この状況に怒りを覚えるべき」というのはメッセージはやや的はずれであるような気がする。

仮に小川キャスターの世帯での所得が2000万円から1億円の間にあるのであれば、小川キャスター本人が怒りを覚えるというのはもちろん正当な怒りであろうが、そうではなくて年間所得が1000万円もないような人たちが、こうした税制に怒りを覚える、というのはいささか言いがかりや八つ当たりに近いものではなからうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月23日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：国会論戦、原発利権		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型肺炎、“武漢封鎖”で混乱、中国在住の日本人も感染か</li> <li>・ 国会論戦             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 杉田水脈衆院議員、「結婚しなくていい」ヤジ疑惑で追及を受ける</li> <li>・ 河井議員夫妻、疑惑の裏で党本部からの1.5億円の資金投入が明らかに</li> </ul> </li> <li>・ 32万人の大規模調査を通じて、月経周期に”新事実”判明</li> <li>・ 「生理用品に軽減税率を」女子大生の挑戦</li> <li>・ 原発利権             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原発関連企業から玄海町長に100万円の現金授受が発覚</li> </ul> </li> <li>・ 殺人罪に問われた会社員、1審に続き控訴審でも無罪</li> <li>・ 宿泊施設の無断キャンセル2200回、親子を逮捕</li> <li>・ パチンコで出掛け自宅に子どもを放置、0歳児死亡</li> <li>・ スポーツ情報</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国会論戦→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「さて続いては国会です。今日も代表質問が行われましたが、注目を集めたのはこの2人の議員です。まず河井案里議員ですが、今日も「政治とカネ」の問題で追及を浴びました。杉田水脈議員ですが、杉田議員は昨日の国会で不適切なヤジを飛ばしたのではという疑惑が浮上しているんですね。2人の議員は疑惑にどのように答えたのでしょうか」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「記者たちの質問を遮り、歩き続ける自民党の杉田水脈衆院議員。不適切なヤジを飛ばしたのは、杉田議員なののでしょうか。昨日の代表質問、国民民主党の玉木代表は選択的夫婦別姓を提案しました。」</p> <p>玉木雄一郎氏（国民民主党代表）「夫婦同姓も結婚の障害になっています。いまヤジで「だったら結婚しなくていい」という声がありました。」</p> <p>ナレーター「玉木氏によりますと、質問の途中、自民党の女性議員から「だったら結婚しなくていい」というヤジが飛んだといひます」</p> <p>蓮舫氏（立憲民主党副代表）「驚くべきヤジがありました。結婚の自由を否定するというのはまさに時代を遡る発言ではないでしょうか。」</p> <p>ナレーター「野党側はヤジを飛ばしたのは、自民党の杉田水脈議員ではないかとし、自民党側に確認を要求。自民党側は「内容は確認していない」としています。杉田議員本人は」</p> <p>記者「昨日のヤジは杉田さんのもののでしょうか？事実関係、発言の真意についてお伺いできませんでしょうか。」</p>		

ナレーター「これまでのところ、事実関係を含めて一切コメントしていません。ただある自民党幹部は「調査したが、誰の発言か分からなかったとしている。杉田氏にも"一切答えるな"と指示が出ていると聞いた」

ナレーター「そしてもう一人注目を集めたのは自民党の河井案里参院議員、検察が捜査に乗り出した「政治とカネ」の問題について新たな事実が判明しました。」

福山哲郎氏（立憲民主党幹事長）「河井案里議員の総支部に参院選前わずか3か月間で約1億5000万円ものお金が自民党から入金されてたとのこと。考えられない金額です。」

ナレーター「去年7月の参院選挙を前に、河井夫妻が支部長を務めるそれぞれの支部に合わせておよそ1億5000万円という巨額の資金が投じられたというのです。この選挙戦を巡っては、案里氏の陣営がウグイス嬢に法律の上限を超える報酬を支払った疑いがもたれています。」

ナレーター「河井ルールで行ける様にしたいですねー」「そうだねー集める時には法定と言って集めておきます」違法な支払いは「河井ルール」として、夫・河井克行前法務大臣の選挙から常態化していた可能性も浮上。違法な報酬支払疑惑の裏で、党本部から1億5000万円という巨額マネーが動いていたのでしょうか。案里氏は？」

記者「党本部から1億5000万円もらったのでしょうか？」

河井案里氏（参院議員、自民党）「いただきましたが、違法ではありません。」

ナレーター「1億5000万円を受け取ったと認めました。この発言に自民党内からは「そんな金額使いきれないよ。普通に選挙を戦うだけなら多すぎる」「なんでそんなにももらえるんだ、不公平だろ」関係者によりますと、選挙資金として党本部から候補者に送られるお金は通常公認料として500万円と選挙対策費1000万円の合わせて1500万円だと言います。では、なぜ案里氏の選挙戦には異常なほど高額な資金が投じられたのか。理由は去年の選挙戦から透けて見えます。舞台となった広島選挙区は、ポスト安倍候補の岸田政調会長のおひざ元、当初候補者は岸田派の重鎮である溝手顕正氏で一本化が進んでいました。しかし、」

安倍晋三氏（首相）「皆さんどうか、河井案里、河井案里と最後までどうか皆さんよろしくお願い致します」

ナレーター「地元の自民党県連の意向に反する形で、党本部主導で案里氏を擁立。自民党同士の仁義なき戦いが繰り広げられたのです。事務所によりますと、溝手氏側が党本部から受け取った選挙資金は1500万円、案里氏側の10分の1でした。溝手氏を支援してきた地元の重鎮は、案里氏側の金額を聞いて」

中本隆志氏（広島県議会議長、昨夏の参院選は溝手氏を支援）「びっくりした半面、やっぱりそういうことだったのだろうと強く思いました。何回も何回も、私の家にも3、4回河井さんの政策ビラが入ってきたと。河井さんの方は本当に湯水のごとく、物量的にも多大なものをぶち込んできた、そういう印象ですね。」

ナレーター「そして選挙の結果、案里氏が当選、溝手氏は落選しました」

溝手顕正氏（元参院議員、自民党）「あえてノーサイドとは申しませんが、サイドはあると思いますが」

ナレーター「今日、案里氏は巨額の資金を去年4月半ばから2か月半の間に受け取ったと明らかにしました。」

河井氏「党勢拡大をしていかなければいけないということで、短期間に資金が集中したと考えています。」

ナレーター「その上で、その資金がウグイス嬢への違法な報酬に当てられたのかについて訊かれると」

河井氏「実は私自身も知りたいことなのです。というのが私自身本件について十分把握していません。陣営の中身、どのように運営されていたのかについても私自身なかなか分からないことでもあります」

ナレーター「自身は街頭演説などで、ほとんど事務所に帰ることができず、運営の実態を把握してなかったと主張しました。一連の疑惑を巡り、夫・克行氏の関与はあったのでしょうか」

河井克行氏（前法相、自民党）「先ほど妻が参議院内で説明をさせていただいたと聞いているので、それに尽きると思います」

VTR を受けて、スタジオでは下記に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「1億5000万円という金額は、通常の選挙資金として投入される金額の10倍ですよね。これだけ差をつけて、特定の候補に肩入れするという事はあっていいのかと思ってしまうのですが、星さんから見てもこの1億5000万というのは破格ですか？」

星キャスター「自民党の選挙に詳しい関係者に訊いてみると、最終盤の重点選挙区で5000万、6000万をつぎ込むことはあると言いますが、それにしても破格の金額ですよね。河井さんは安倍総理、菅官房長官を推していたので、そういう人を支援するんだと多額の資金を投入したとなると、自民党の中から依怙臆眉が過ぎるという声が出ていますし、安倍一強の歪みと言ってもいいでしょうね。巨額の資金が投じられることで、選挙全体が金権選挙になると、反省する必要があると思いますね」

このトピックに当てられた時間は558秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・原発利権→結論：問題なし

小川キャスターの「九州電力の玄海原発のある佐賀県玄海町の町長が初当選した一昨年の夏、この町長が福井県敦賀市の建設会社から現金約100万円を受け取っていたことが明らかになりました。」とのコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

脇山伸太郎氏（佐賀県玄海町長）「大変多大なご迷惑をお掛けしましたことを深く反省しておりますし、おわび申し上げます。」

ナレーター「今日会見で陳謝した佐賀県玄海町の脇山町長、初当選を果たした一昨年7月、福井県敦賀市の建設会社「塩浜工業」から現金およそ100万円を受け取っていました。」

脇山氏「「おめでとうございます」といって、「当選祝いです」と来られて、「いいですね、持って帰ってください」と何度言っても「もらってください」と」

ナレーター「受け取ったのし袋の中身が現金だと知ったのはおよそ3か月後だと言います。」

脇山氏「信じてもらえないかもしれないけど、町長になってすぐは来客とかで忙しかったですから。早く返さないといけなかった。」

ナレーター「現金を返したのは、先月中旬。およそ1年半が経ってからでした。」

町民「そんな時間が経ってから、開けるのだろうか。信用できない」

町民「(中身が現金か)知っていたかどうかが問題、返すから最初から貰わなければいい」

ナレーター「原発建屋の修繕工事などを請け負っている塩浜工業、玄海原発については30年前を最後に工事に入っていません。そのためか、脇山氏の前の町長の元へも塩浜工業の担当者は訪れていたとのこと。」

岸本英雄氏（前玄海町長）「全国やっていたので、原子力発電所のところは、塩浜さんは。玄海ではやってなかったのですよ、だから玄海でも仕事がしたいなという意思表示だったのでは」

ナレーター「脇山町長が受け取ったのし袋には、塩浜工業の社長の名刺も入っていたとのこと。」

塩浜都広氏（塩浜工業社長）「再稼働に向けて工事があると思って、「その際はよろしくお願いします」「邪魔せんといて」ということで行ったと思いますよ。会社としては問題ないと」

脇山氏「できるだけ早めに内々に(解決しよう)という感じでした。」

ナレーター「今回の現金受領に関してこう話した脇山町長、ただ政党以外が企業から現金を受け取ることを禁止する政治資金規正法に抵触する可能性があります。」

ナレーター「脇山町長は進退について、後援会などと相談をしております。」

スタジオでは下記に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「関西電力の高浜原発を巡っては、関電の幹部や自治体の幹部に原発マネーが還流していることが明らかになりましたが、これ同じ構図が玄海町でもということなんでしょうか」

星キャスター「まあ今後の受注を当て込んでのおカネなんだろうが、明らかに闇ガネ、裏金だと思いますよね。福井県の業者が佐賀県の町長にということで、どうも原発マネーが広がっていて、闇が深いのではないかと伺わせることだと思うんですよね。再稼働に向けて、こういう不明瞭な動きがあるかどうか心配になるところで、総点検する必要があると思いますね」

このトピックに当てられた時間は 239 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

#### 検証者所感

##### ・国会論戦

「カネがかかる選挙制度」として悪名高かった衆議院における中選挙区制の廃止から四半世紀が経ち、また露骨な金権選挙が忌避されるこのご時世にあってはあまり聞かれなくなった言葉であるが、有名な選挙用語に「四当五落」(受験勉強で4時間睡眠で頑張ったら合格、5時間寝たら不合格という意味)をもじった「**五当四落**」(選挙で5億使えば当選、4億だったら落選)というものがある。

その理屈で言えば、党本部から河井克行・案里夫妻の各政治団体に対する延べ1億5000万の資金援助というのは何も驚くべきことではないのかもしれない。

しかしながら、星キャスターが「河井さんは安倍総理、菅官房長官を推していたので、そういう人を支援するんだと多額の資金を投入したとなると、自民党の中から依怙最良が過ぎるという声が出ています」と述べていたように、今回の件が自民党内の安倍首相に対する不信感を増大させることに繋がっているとすれば、次期総裁選に向けた党内基盤の不安定化にも直結し、案里氏の当選によって得られた参議院の1議席が計り知れない代償を生む可能性がある。

また、同じ昨夏の参院選広島選挙区では、当初日本維新の会公認での立候補を予定していたH氏が立候補を取りやめていたが、これに関しては、河井陣営が「保守系」「若めの女性(参院選当時の年齢で、案里氏は45歳、H氏は35歳である)」というキャラクターが被ることを恐れ、H氏の陣営と立候補取りやめの交渉を行ったという噂もあり、その際にこの1億5000万の資金が流用されていないかどうか、候補者調整交渉の有無と同様に検証が必要になるのではないかと。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2020年1月24日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：アメリカ大統領選挙、国会における不正発言		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型肺炎、死者 26 人 日本でも 2 人目の感染者</li> <li>・ 45 人殺傷の植松被告、自ら「責任能力ある」と主張</li> <li>・ アメリカ大統領選挙             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の分岐点…トランプ氏再選のシナリオ</li> <li>・ トランプ氏再選なら…日本のリスク</li> </ul> </li> <li>・ 愛媛で闘牛用の牛に襲われ、男性が死亡</li> <li>・ 南海トラフ巨大地震の津波危険予測が発表される</li> <li>・ 上空に五輪マーク、聖火到着地で</li> <li>・ 英国議会で EU 離脱関連法が成立</li> <li>・ 「終末時計」過去最悪”100 秒前”に</li> <li>・ 売春あっせんで 70 億円超荒稼ぎか、風俗店経営者が逮捕</li> <li>・ 群馬で発砲事件、男性射殺か</li> <li>・ 国会における不正発言             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ”結婚”ヤジ、野党側は議長に発言者の特定を申し入れる</li> </ul> </li> <li>・ スポーツ情報</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <p>・ アメリカ大統領選挙→結論：問題なし</p> <p>小川キャスターの「さてここから今年最大の政治イベントと言っても過言ではありません、アメリカ大統領選挙の行方を占っていきます。トランプウォッチャーとして知られるバックンと共に考えていきます」、バックンことパトリック・ハーラン氏の「今年はオリンピックと同じくらい大統領選挙が楽しみです。」、小川キャスターの「大イベントですからね。日本を含めて世界の大きな分岐点となります、今回の選挙ですが既に激しい選挙戦が始まっているようです。」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「トランプ大統領の登場で変わりゆく世界、パリ協定の離脱、米中貿易摩擦、トランプ大統領の決断が世界に分断をもたらす中、再選に向け岩盤の支持層を固めるトランプ大統領、対する民主党の候補者争いには、急進左派のサンダース上院議員に、オバマ政権の副大統領のバイデン氏、更に富裕層への増税を訴えるウォーレン上院議員、そして 38 歳の新鋭ブティジェッチ氏の追い上げは。日本、そして世界の運命を握る大統領選の行方は」</p> <p>VTR を受けて、スタジオでは下記に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>小川キャスター「トランプ大統領が再選するのか、それとも新しい大統領が誕生するのか、バックンは前回の大統領選で予想を外して大変だったですね。」</p>		

バックン氏「予想を外したと言うのはやめましょう。7:3 でヒラリー・クリントンが当選すると見込んでましたが、3の方が当たったと。まあテリー伊藤さんに丸刈りにされそうでした。」

小川キャスター「今回の予想はずばりどうでしょうか？」

バックン氏「今回はトランプが有利で、6:4 でトランプの勝利と読んでます。」

小川キャスター「それ、安全策を取ってないですか？」

バックン氏「安全策はとってる。万が一外れたとしても喜んで丸刈りにしています。」

小川キャスター「自信はおありですか？」

バックン氏「でも一応理由はあります。」

小川キャスター「では、そのあたりたっぷり聞いていきたいですが、トランプが勝つと予想していましたが、ただ今の状況、いくつかデータを見ていきますと、こちらなんです、トランプ大統領の最新の支持率、支持が44.5%、不支持が52%と、(不支持が)上回っているわけなんです。また、民主党の候補者レースで上位になっている4人の候補者とトランプ大統領が一騎打ちになった場合にどちらを支持するかを訊いた調査なんですけど、4人中3人の支持率がトランプ氏を上回ってるわけなんです。」

バックン氏「僕はトランプ氏の勝利を読んでます」

小川キャスター「これでもトランプ氏が勝つと」

バックン氏「まず思い出していただきたいのが、事前の世論調査で前回もヒラリーが4~5ポイント上回っていましたが、でも選挙結果としては(ヒラリー氏は)負けました。もう一つは、この支持率と不支持率の差は一見ではわかりませんが、この中には温度差が実はあるのです」

小川キャスター「温度差がある？」

バックン氏「はい、さっきオープニングVTRでもありましたけど、世界からも批判されているような政策、騒動を起こしているトランプ大統領ですが、その中でも44.5%が支持を続けているというのは、コンクリート層と言われていて絶対この下を割らないだけではなく、この人たちは2年前・3年前と比べてももっと熱狂してるのです、もっと熱く応援しているのです。」

小川キャスター「堅くて厚い支持層がここにあるということですね」

バックン氏「そうです。不支持率の52%に生温いのが8%でも10%でも入っていれば、支持率を下回って、実際に投票する人数ではトランプの方が多くなる可能性は十分にある。」

小川キャスター「そんなに厚くて堅い支持層というのはどうして生まれているのですか？」

バックン氏「そこにトランプのちょっと賢い政策マジックがあります。これ、僕が言う「アメリカ"一部"ファースト」政策なんです。」

小川キャスター「「アメリカファースト」ではなく「アメリカ"一部"ファースト」？」

バックン氏「「アメリカ"一部"ファースト」です。というのは、皆さん「ワン・イシュー・ポーター」という言葉を聞いたことがありますかね。「ワン・イシュー」というのは一つの問題、その一つの問題について自分の希望通りに政策が動いていけば、絶対そっちの方向に投票する、他のイシューはどうなっても一つだけで動く方は世の中にいます。」

小川キャスター「一つの政策だけで票を投じる基準にすると」

バックン氏「そういう方を狙って、一部ずつをやっています。例えば「白人ファースト」なによりも白人であり、

白人至上主義に近い方の思いに据えて政策を行っています。白人至上主義団体が騒動の中で女性が死亡する交通事故を起こしたことに對して、「いい人」ですとその白人至上主義をかばった」

小川キャスター「擁護すると？」

バックン氏「その姿勢がいわゆる「ワン・イシュー・ポーター」の票を獲得してるのです。他には銃規制反対派「銃ファースト」の皆さんもやっぱり銃規制が全く進んでない、むしろ後退してる3年間の政策を買ってるでしょう。続いて、こちら「農家ファースト」、TPPからの離脱、NAFTAの結びなおし、中国との貿易戦争を起こし、そして莫大な量のアメリカの作物を（中国に）買ってもらえるという交渉が成立したことを受けて、こういうデータが出ています。こちらは農業メディアの「ファーム・ジャーナル」の今月18日の月次調査なんですけど、農場・牧場経営者の83%がトランプの仕事ぶりを評価しているのです。そしてこの支持率はトランプ氏の大統領就任以降最高の値になっています。ということは農家において、農業においての政策を買って、83%の人が応援しているわけです。その他にも、イスラエルファーストのアメリカ人、中絶反対の方、移民反対の方の思いに沿って政策を取っているのです。この方々はどれも少数派ですよ、これが積み重なるとこの44%の支持、もしくは45%、46%の支持に繋がっていきます。過半数を取れなくても厚い少数派でも当選、再選できる。」

小川キャスター「白人ファースト、銃ファーストの強い支持が積み重なった数字がこの44.5%」

バックン氏「「ワン・イシュー・ポーター」は敏感ですし、厚いのです。自分の思いが叶えば必ず投票すると思います」

小川キャスター「もうこの3年ちょっとのトランプ大統領の政策には完全に賛成しているわけですか？」

バックン氏「そうですね、その一部ずつは」

小川キャスター「ただ、この3年ちょっとの政策に業を煮やして人はいるわけですし、中間選挙でも投票に行こうというキャンペーンがあって投票率が上がって、下院では民主党が奪還したわけですよね。そうした動きがないのかなと感じるところもありますし、一方で民主党の候補者もそれぞれこうした顔ぶれがそろっているわけじゃないですか」

バックン氏「そうですね、(民主党の大統領候補者には)それぞれ魅力があります。バイデン氏は古き良きオバマ時代に戻りたい中道派の皆さんが大好き、前回は史上初の黒人大統領を生み出した民主党ですから、次も歴史を作りましょうと史上初の女性大統領という方もいらっしゃれば、こちらも史上初のオープン、カミングアウトされている同性愛者大統領を応援する方も多いのです」

小川キャスター「(ブティジェッチ氏は)若いですしね、30歳です」

バックン氏「37歳です、若々しい。リベラルもありますし、中道もあります。色々な選択肢があります。この中で今注目しているのはこちらのサンダース氏、先日の世論調査で初めて大統領候補の中でトップの支持率を見せましたし、全体の支持率だけではなく、予備選で最初に来るアイオワやニューハンプシャーでもリードを伸ばしています。」

小川キャスター「どこが支持されているのでしょうか、サンダース氏は」

バックン氏「ウォーレン氏と同じで、リベラルな政策を持っています」

小川キャスター「そうですね、極端なリベラルな印象がありますが」

バックン氏「そうですね、社会主義的なヨーロッパの政策からすればそこまでリベラルではないのですが、アメリカの国内としては史上初の自称「社会主義者」大統領になりうる。それもエポックメイキングなんですよ。」

ただこれがウォーレン氏だったらリベラルすぎる、ハーヴァードの教授だ、一般人からかけ離れた存在であると」

小川キャスター「超エリートであると」

バックン氏「エリートで、我々の私生活を分かってないでしょと見られがちなのですが、サンダース氏は信念だけではなくカリスマ性を感じることもあります。皆さんは好かれる頑固おやじとして(サンダース氏に)親しんでいるのですね」

小川キャスター「考え方は正反対ですが、トランプ氏に支持者層が重なってくることも」

バックン氏「そう、まさに。磨きがかかっている政治家ではなく、リアルな頑固おやじ、町内会長にいそうな感じなんです」

小川キャスター「そのサンダース氏をしても勝てないのでは」

バックン氏「そのサンダース氏をしても、僕は6:4と読んでいます。社会主義というちょっと貶し文句に使われている弱点もありますけど、経済状況も心配なんです。というのも経済状況は心配ないからです、好景気だからです。好景気であれば、失業率が史上最低水準に下がっています。サンダース氏は労働者階級を狙っていて、(トランプ氏と) 取り合いになります、この皆さん(=労働者)が満足していれば、このままでいいのではということになります。これでもまだサンダース氏は魅力的な候補かと思いますが苦戦します。」

小川キャスター「(サンダース氏はトランプ大統領の) 支持層を奪うほどではないということですね。ただトランプ大統領が再選されたら、日本にどんな影響があるのか心配したり、気を揉んだりしていることが色々あると思うのですが」

バックン氏「心配材料色々あります。例えば、韓国も米軍の駐留費の引き上げ交渉に臨んでますし、貿易教書を結んだばかりなのに関税のレートを下げろとか自動車関税はそのままにしてくれよとか再交渉に働きだすかもしれない。まあ僕は今まで3年間で安倍首相は上手い具合にトランプと付き合ってるように思います。でもこの先、中国・ヨーロッパ・イラン・北朝鮮などの問題が手こずった時には、(トランプ大統領の攻撃対象が)日本に来るかもしれません。今まで仲良くしてるように見えますが、正直個人的な意見としては、(日本政府、安倍首相には)暴走するトランプを引き留めるブレーキ役を務めてもらいたい。安倍さんとトランプさんの友情関係を見せてもらいたい」

小川キャスター「総理が(トランプ大統領に対して)NOと言える関係になると」

バックン氏「今のところ、(安倍首相とトランプ大統領の関係は) 対等な友人関係ではなく、ジャイアンとスネオのような存在もあるので、この関係の改善にも努めてもらいたいと思います」

小川キャスター「この関係がどう変わっていくのかに注目ですが、もっと聞きたいことはあるんですがお時間となくなってしまいました、今回外れたらどうします？」

バックン氏「丸坊主？ここで宣言しちゃってよいのですか」

小川キャスター「やめましょう、またお越しく下さい、また予想してください。ありがとうございます。」

このトピックに当てられた時間は701秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・国会における不正発言→結論：問題なし

以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

ナレーター「国会の代表質問で夫婦別姓に触れた際、「だったら結婚しなくていい」とヤジが飛んだ問題、誰が

ヤジを飛ばしたについて名前が挙がっている自民党の杉田水脈議員が事実関係の確認を拒む中、野党側は衆院議長あてに発言者の特定を申し入れました。」

このトピックに当てられた時間は 19 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

#### 検証者所感

##### ・アメリカ大統領選挙

バックンことパトリック・ハーラン氏は、各種世論調査で現職大統領のトランプ氏の不支持率が支持率を上回っている状況で、今秋の大統領選でトランプ氏が再選すると予想した根拠として、「世界からも批判されているような政策、騒動を起こしているトランプ大統領ですが、その中でも 44.5%が支持を続けているというのは、コンクリート層と言われている絶対この下を割らないだけではなく、この人たちは 2 年前・3 年前と比べてももっと熱狂してるのです、もっと熱く応援しているのです。」と述べており、またその要因として銃規制等の特定争点を重視する有権者の困り込みに成功していることを挙げていたが、これを政治マーケティングの観点から見れば、現在のアメリカのように二大政党の支持が拮抗している状況では、無党派層の獲得コストが高騰しており、無党派層を引き込むよりも自党の支持層を投票所に動員して投票率を上げる方が費用対効果に優れているゆえの共和党の行動と説明することができよう。